

現代中国美術の最高峰を一望



劉開渠 新しい時代を迎えて
(特別出品作品)



吳作人 チベット高原の放牧 (特別出品作品)

飯田橋はJR線(中央線、総武線)や、地下鉄(東西線、有楽町線)それにいくつかのバス路線が走り、駅前にも新しいビルが建ち、その広場を利用して、種々の企画や催しが行なわれ、若者が徐々に戻ってきており、新しい賑わいを呈している。

その昔、飯田橋界隈は、神楽坂などを初め、由緒ある場所が多く、学生や文人墨客に愛され、文化や芸術の香りがそこかしこに感じられた。その趣き、雰囲気は、わずかながら、残存しているように思われる。

飯田橋から後楽園方面に約五〇〇米のところ、昭和六三年一月二二日、日中友好会館がオープンした。日中友好会館には、日中の文化交流を促進するため、美術館および大ホールが大きなスペースで設けられている。この美術館および大ホールを使って日中友好会館の落成と日中平和友好条約締結十周年を記念して、現在「現代中国美術秀作展」が開催されている。

中国では五、六年に一度、全国からあらゆる美術の分野の作品が集められ、金賞、銀賞などの優秀作品が選ばれている。今回の展覧会は、中国文化部、中国美術協会主催の「第六次全国美術作品展覧会」に応募した作品(応募総数五九四四件、入選作品三七二四件)より、厳選された作品によるものである。内容は、国画と呼ばれる中国伝統の絵画、油画、彫刻の三分野にわた

り、金賞、銀賞などの優秀作品と、審査員などに当たった大家の特別出品作品、合わせて八五点ほどだが、中国現代美術のおよその傾向と水準を示しているものである。

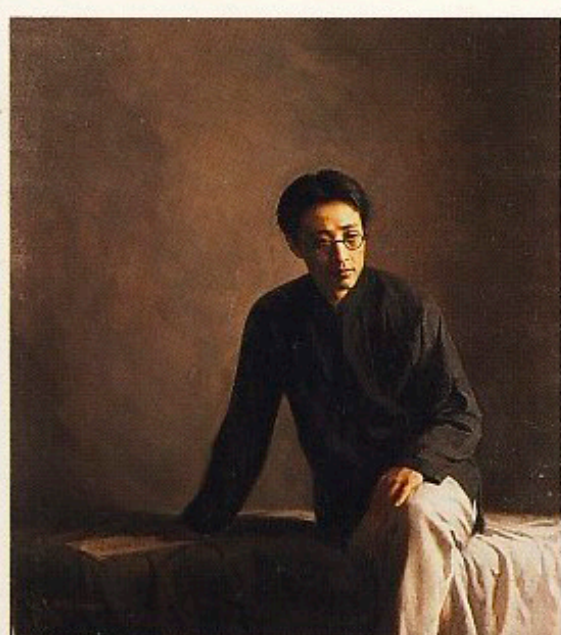
この展覧会は、日中友好会館と中国日本友好協会が主催し、外務省、文化庁、国際交流基金、日中友好議員連盟、日本中国友好協会、日本国際貿易促進協会、日本中国文化交流協会が後援している。



潘鶴 荒地を拓く牛



吳冠中 春雪



靳尚誼 瞿秋白

◎現代中国美術秀作展

会期 63年1月26日(火)〜3月27日(日)
会場 日中友好会館美術館および大ホール
電話 03(815)5085



賈又福 太行山——偉大なる記念碑



汪志傑 サイモサイム千仏洞前の流沙河



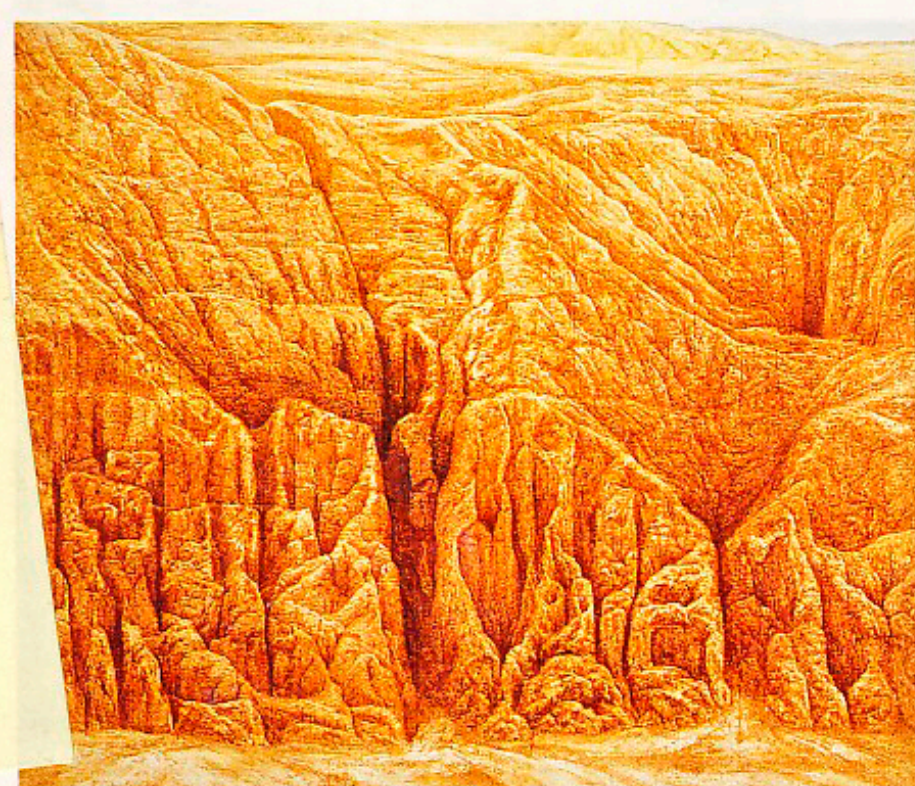
宋雨桂・馮大中 覚醒



王晋元 龍蛇の舞い



沈文強 孺子牛(魯迅像)



翟亜申・賀大田 根



薛雁群 分教場の先生